

かながわランドデザイン 評価報告書 2020

県民意見一覧

令和 4 年 3 月

神奈川県政策局

このたびは、「かながわランドデザイン 評価報告書 2020」に対するご意見、ご提案をいただき、誠にありがとうございました。

皆様からいただいたご意見、ご提案を整理した「かながわランドデザイン 評価報告書 2020 県民意見一覧」を作成しましたので、ご報告いたします。

今回、様々な分野に対してご意見・ご提案をいただき、特にこの一年県民の皆様の生活や経済活動等に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症に関連したご意見も多く見られました。

いただいた貴重なご意見につきましては、県庁内で共有し、今後の取組みの参考とさせていただきます。

今後とも、県政運営に対するご意見、ご提案をお寄せいただければ幸いです。

令和4年3月31日

神奈川県政策局政策部総合政策課長
山崎 博

- この「かながわランドデザイン 評価報告書 2020 県民意見一覧」は、「かながわランドデザイン 評価報告書 2020」に対して県民の皆様から寄せられたご意見、ご提案について取りまとめ、お示しするものです。

- 対象としたご意見等は次のとおりです。

● 県民参加期間 2021(令和3)年7月14日～2022(令和4)年1月31日
意見総数 合計 75件

- この一覧はインターネットのホームページにも掲載しています。
https://www.pref.kanagawa.jp/docs/r5k/cnt/f4895/hyouka2020_kouhyou.html

【問合せ先】

ご意見の反映状況や施策・事業の内容について、より詳しくお知りになりたい場合は、次の窓口までお問い合わせ下さい。（お問い合わせの内容により、担当する部署から回答させていただく場合があります。）

神奈川県政策局政策部総合政策課計画グループ

TEL 045-210-1111（代表）

TEL 045-210-3061（直通）

FAX 045-210-8819

「かながわグランドデザイン 評価報告書 2020」 県民意見一覧の記載内容

記載例

意見整理番号	意見要旨	分野別
21G00101	かながわグランドデザインのプロジェクト5については、・・・	エネルギー・環境

記載の区分

- ① 意見整理番号
いただいたご意見等の整理番号です。
- ② 意見要旨
県民の皆様からいただいたご意見等を要約しています。
一通のお手紙等にいくつかの内容が含まれているものについては、それぞれ別に整理しました。
- ③ 分野別
いただいたご意見等について、「かながわグランドデザイン」でお示ししている7つの政策分野別に分類しました。

「かながわランドデザイン 評価報告書 2020」
に対していただいたご意見等

意見整理番号	意見要旨	分野別
21G00101	<p>かながわグランドデザインの各プロジェクトにおいて、今後の課題や県が取り組むべきことだと思うことについて、私は、プロジェクト3の高齢者についての意見を考えた。現在、神奈川県では急激なスピードで高齢化が進んでおり、超高齢化社会に到達しており、超高齢化社会では、要介護者の数の急増等による従来の医療制度での対応が難しくなるという懸念や、老々介護が増えてしまうという課題や、現役世代の労働力の減少に加え、出生率の低下、総人口の減少による生産力の低下や経済成長の低迷が課題としてあげられる。上記のような課題に対して県が取り組むことができるプロジェクトが高齢者であると私は考えた。</p> <p>具体的な取り組みについては、そもそも増加する高齢者にとって生活しやすい地域づくりをまずは検討するべきであると考えた。高齢者が生活しやすい地域づくりでは、高齢者による交通事故が増えているので、例えば、バスといった交通機関の利用を制限(住んでいる場所から通院している病院間のみ有効)で無料化するべきである。また、高齢者の生活を見守る体制を整えることがあげられる。健康・生きがいつくりの面では、高齢者による社会参画に対する県からの支援金やその他支援を充実させることができれば、高齢者にとっての生きがいに繋がると私は考えた。</p>	健康・福祉
21G00201	<p>かながわグランドデザインの柱Vまちづくりにおける多文化共生が非常に大きな課題として向き合わねばならないように思われます。神奈川は歴史的な背景や地理的な実情等のあらゆる要素が複合して言える事ではありますが、他県より外国に対しての関わりが良くも悪くも深くあります。その関係性におきまして、私には負の面が多く見えるように思われます。いくつか例を上げると外国人の住民税を筆頭とした税金の滞納からの帰国で本来得れるはずだった税収の低下と未納者外国人の行政システム等のタダ乗りなどが挙げられます。多文化共生という馴染ませる云々より前提として日本国で定められた法律の遵守を何よりも優先させるべきであるように思われます。しかし、異国の地であることを配慮すべく様々な言語等で音声や文書問わず様々な手段を持って、税金の未納に関しては厳しいながら適切な対応を迫る必要性があるように思われる為、国の運営上は納税という義務が必要が必要である以上成さねばならないように思われます。</p>	県民生活
21G00301	<p>プロジェクト11の犯罪について、犯罪などの起きにくい地域社会づくりがとても良い取り組みだと思いました。最近犯罪、事件が多いので県としてそういったことに取り組んでいるのは魅力的です。神奈川県は性犯罪は全国で16位だそうです。人口が多い県にしては比較的少ないほうでした。しかし、犯罪にはならないけれど、夜駅から家までつけられた。という話を近所に住む同年代の女性からよく聞きます。道が暗く、22時以降は信号も消えてしまいます。一本細い道に入ると車も通れず本当に真っ暗になってしまいます。電灯がもう少し増えれば安心して歩くことができます。そして、明るければそういった被害を減らすことができるのではないかと思います。</p>	安全・安心
21G00302	<p>プロジェクト21の自然について、家の近所で森を削り何かを建てる予定だったのだけれど工事が途中になっている場所があります。私が小学生のころから今まで何も変わっていませんし工事しているところもみたことがありません。小学生の通学路で近くには自然いっぱいザリガニ釣りなどをすることができる場所があります。せっかくいい場所なのに工事途中のせいで汚く見えてしまいます。このような場所はここ以外にもあると思うので少しでもなくしてほしいです。</p>	エネルギー・環境
21G00401	<p>プロジェクト3 高齢者 日本全体の問題となっている高齢化社会の問題について、高齢者が安心して暮らしていく社会を作っていくことが大切だと思います。そのためにはAIを利用した助けを求めている高齢者を判断し、適切なサービスを行うことが必要になってくると思います。これからどんどん増えていく高齢者の把握を人の手で行なっていくのは、困難だと思うからです。家族構成や持病、求めているサービスを把握してそれを最大限の力で活かすことができるのは、AIの力しか無いと思います。また高齢者だけのコミュニティを作るのではなく、子供世代との合流も増やすことが大切だと思います。そのためには、地域でのお祭りなどのイベントや、その地域で引き継がれてきた伝統を知ってもらうことなどがあると思います。これらを達成するためには、学校との協力が不可欠です。授業の一環として交流を深めることのできる場を設けることにより高齢者だけでなく地域が一体となり新しいコミュニティの輪を構成することが可能になると思います。違う世代との交流は、高齢者にとっても良い刺激になると思いますし、これによりより安心して暮らせるのではないかと思います。</p>	健康・福祉

意見整理番号	意見要旨	分野別
21G00501	<p>かながわグランドデザインの各プロジェクトにおいて、今後の課題や県が取り組むべきことだと考えることや思うことは、第三期実施計画(23のプロジェクト)の柱Vの中のまちづくりである。今後、まちづくりをやっていく上で魅力的な地域づくり・多文化理解の推進・協働連携の推進(多様な主体)など様々な役割や対応が必要である。かながわグランドデザインの柱Vのまちづくりの中で今後の課題や県が取り組むべきことは、プロジェクト18(地域活性化)・プロジェクト19(多文化共生)・の点である。</p> <p>県内の人口減少による少子高齢化やコロナ禍での生活が始まっている中、地域のまちづくりをしていくためには、オールドタウン化した地域を新たに開発を施す施策を立てる。オールドタウン化した地域を住みやすい地域となるように、空き地や空き店舗・利用されていない公共施設などを居住者に即した活用法であったり新たな移住者に向けた施設や住居に活用する。</p>	県土・まちづくり
21G00502	さらに、多文化の理解を推進することで、外国人の転入を促すことや外国人労働者が活躍できる環境を作ることができる。	県民生活
21G00601	<p>プロジェクト9 災害</p> <p>自然災害が多い中、自然災害の対策としては、災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人一人が自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」が重要だと考えます。その中でも、「自助」、自らの命は自らが守る意識を持ち、一人一人が自分の身の安全を守ることが大切であると考えます。そのためにもまずは自然災害の知識を身につける必要があると考えます。</p> <p>取組としては、オンライン説明会やYouTubeなどに投稿することです。今現在オンラインやSMS、YouTubeなどが流行っており、家にも気軽に誰でも観れることができるので小さい子供や体が不自由な人、高齢者など、より多くの人に見てもらえることができるので、オンライン説明会やYouTubeに投稿することで自然災害の恐ろしさを知ったり、どのように対策していればいいのかなど知識が身に付いていき、一人一人が自分の身を守ろうと意識は変わってくると思います。</p>	安全・安心
21G00602	<p>プロジェクト7 観光</p> <p>地域活性化をして行く中、国内外から観光客を呼び込む取組として、SNSの普及が望まれる。その理由として、海外の人はInstagramやTwitter、Facebookを利用してる人が沢山いるので、そういったSNSなどで神奈川の自然、歴史、神奈川の良さなどをPRして、神奈川の魅力を知って貰えば、海外の人が行ってみたいと興味が出てくるので、SNSの普及が国内外から観光客を呼び込めるとおもいます。</p>	産業・労働
21G00701	<p>現在の神奈川県内の就業支援の充実において、非労働力人口の若年者の就業支援のために、教育・子育て支援における若者の引きこもり対策を担う青少年センターとかながわ若者就職支援センターの連携を強化し、青少年の引きこもり対策を周知させるための施策と引きこもり対策を通じて社会復帰させるための内容を充実させるべきである。現在、非労働力人口は神奈川県内でも前年度に比べて増加しており、その対策の中でも高齢者や障がい者の就業支援が注目されているが、私は高齢者の就業支援だけでなく個々の事情で就業する意欲を起こせないでいる引きこもり等の若者への就業支援も同じくらいの重要性があると思うからである。</p> <p>現在のかながわグランドデザインについての説明では、高齢者や障がい者、若年者等の就業支援が掲げられているが、若年者の支援としてキャリアカウンセリングやセミナーの支援とあるが、引きこもりの若者が自分が望む職業に就業し社会復帰するためには、引きこもり対策を行っている青少年センターや、生活における個人の問題に対応するケースワーカーなどと連携し、個々の若者に合わせた就業支援を行うことが望ましいといえる。施策の例として、若者の支援を担当している機関の連携を強化し、社会復帰が見込める若者に対し、若者が望む職種に関する資格取得の支援などのセミナーの機会を設けることなどが挙げられる。また、それらの施策に対応するために、青少年センターやケースワーカーなどの人員を増やすことも必要であると思われる。</p>	産業・労働
21G00801	プロジェクト13の子ども・青少年～子ども・青少年が健やかに成長できるかながわをめざして～と、プロジェクト17の雇用～一人ひとりが輝きながら働ける神奈川～に関して、今のコロナ禍というある意味での新しい時代に向け、それに対応する新たな対策や政策が必要であると考えます。例えば、コロナ禍によりリモートワークが増えそちらにばかり注目が注がれがちではあるが、それだけではない。コロナ禍により収入が減少し、兼業を解禁する会社が増えた。それによりマルチジョブホルダーが例年より増加している。また、フリーランスの人々も増え、フリーランスに対する保証が少ない、もっと充実させるべきだと言う意見も多くなっている。フリーランスの人々やマルチジョブホルダーの人々は、育児休業給付金を受け取ることができない。これらの人々にも行き渡るような保証を行政で補償・給付することによって、今よりも出生率の増加や子育て世代の呼び込みに繋がるのではないかと私は考える。これらを充実させることにより、プロジェクト13とプロジェクト17、2つのプロジェクトの取り組みの充実度が上昇するはずだ。以上が、私の「かながわグランドデザインの各プロジェクトにおいて、今後の課題や県が取り組むべきことだと思うこと」である。	産業・労働

意見整理番号	意見要旨	分野別
21G00901	<p>プロジェクト10 治安</p> <p>この話が治安というジャンルに入るかわかりませんが、私は以前夜にランドマークタワーで買い物した帰りに桜木町駅に向かっていたんですがその周辺の道路で車がトランクを開け爆音を鳴らしながら日本丸交差点で停止したものの、桜木町駅周辺というのは商業施設だったりホテル、飲食店、高層マンション群も連なっている街でもあるのでいくら大都市で夜に爆音を鳴らしたりしてたら通行人にも迷惑がかかるし、近隣住民だって寝る時間なのに爆音を鳴らされた日には夜寝付けないと思うので自分は検挙して欲しいと思います。ちなみに自分が目撃したのは土曜日の21時過ぎでした。</p>	安全・安心
21G01001	<p>プロジェクト9 減災</p> <p>気候変動によってさまざまな災害が起きやすくなっている。また、地震大国である日本において地震や津波、火山の噴火など多くの自然災害に対応する必要がある。今一度、災害対策を皆のして、本当に対策は万全なのか、足りなかったら新たな施設などを作るべきかなどを見直すことが必要になるだろう。</p>	安全・安心
21G01002	<p>プロジェクト12 男女共同参画</p> <p>神奈川県は、男女が平等に社会に参加できるように取り組む必要がある。特に、女性の権利向上、具体的に言うと女性が重要な役職に就けるようにする。そして、男女における賃金格差を是正することが必要不可欠だ。また、性的マイノリティへの配慮もこれからは絶対に必要な要素になる。新たな価値観でみていくことが大切だ。具体的には、神奈川県で実質的な同性婚を認める制度をつくるべきだ。国会を待っていたっていつになってもこれは解決しないだろう。渋谷区を見習うべきだ。これを神奈川県が制度として確立すれば、とても称賛に値する。様々なジェンダーの人たちが誰も取り残されない、また誰もが生きやすい多様性を認め合えるそんな神奈川県を目指していくべきだ。</p>	県民生活
21G01003	<p>プロジェクト17 雇用</p> <p>雇用という面では、技能実習制度を直ちに廃止するべきだ。技能実習生制度は、現代版奴隷制度であり、国連からも人権侵害であると警告されている。国が例え、技能実習制度を辞めなくても神奈川県は廃止するべきだ。そして、外国人労働者として賃金が保障されて、生活が安心しておくれる状況をつくりだすことが必要である。必要ならば日本で生活を送りやすくするための、語学学習プログラムなどの様々な支援サービスも充実させるべきだ。今のままだと、そのうちこの国からも誰も日本に働きになんて来なくなるだろう。</p> <p>また、最低賃金も引き上げることが重要だ。日本の実質賃金は主要国でも最悪レベルであり、90年代に比べてマイナス10%を記録している。スタグフレーションが発生して経済は衰退するこの状況を改善しないと未来はないだろう。大企業と富裕層だけが得をする現状を変えるべきだ。</p>	産業・労働
21G01004	<p>プロジェクト22 環境</p> <p>世界的な気候変動に対応するためにも神奈川県は具体的な対策をすることが必要だ。再生可能エネルギーに代えれるところはすべて代えるべき。また、それに伴う新たな雇用も生み出すことも有効だ。</p>	エネルギー・環境
21G01101	<p>私は、かながわブランドデザインの各プロジェクトのうち2つのプロジェクトについて取り組むべき案を考えました。</p> <p>1つ目に考えた取り組むべきことは、プロジェクト2の医療についてです。プロジェクトの取り組んでいる内容を見ると、医療の促進や人材の育成、確保などを重点的に行っているのだと捉えました。もちろん、健康長寿を柱として掲げているため必要不可欠なことであり、重い病なども治す技術の発展が長生きにもつながると私は思います。しかし、資料にもあるようにがんによる死亡数が医療の発達により減ってきてはいますが、私が取り組むべきと考えることは、もっとがん検診などの健康診断の回数や内容を増やしたり、受けてもらうように呼びかけなどをすべきだと考えます。今の技術では、治すことができない重い病でも、早期発見で治すことが可能な場合もあると思うからです。</p>	健康・福祉
21G01102	<p>2つ目に考えた取り組むべきことは、プロジェクト8の農林水産についてです。経済のエンジンとして、農林水産物のブランド力の強化と挙げていますが、私はもっと世界に神奈川の農林水産物をアピールしていくべきだと考えます。地元の人たちは、地元で採れたものを食べれることに、28%ほどの人しか満足していないと知り、私は納得がいきませんでした。それは実際に、世界的にも有名な農林水産物であれば、地元のもの食べれる素晴らしさなども実感でき、かつ観光客増加にもつながるのではないかと考えます。</p>	産業・労働

意見整理番号	意見要旨	分野別
21G01201	<p>現在日本では人口減少が目まぐるしい。その影響も神奈川県も受けており県内の三浦市や箱根町、湯河原、真鶴などの九つの市町村が消滅可能性都市になるとされている。人口減少が全国で深刻化されている中私は自然増に力を入れるよりも社会増に力を入れるべきであると思う。そのためにも住民が暮らしやすい社会保障を手厚く保障していく必要があると思われる。真鶴町を例に挙げるが、真鶴は横浜駅から東海道線で1時間程度で行ける場所に位置しているため、少々時間はかかるものの都市部には比較的で安い場所に思える。また真鶴は海に面した場所でもありそういった地域特性を生かしたまちづくりを行うべきであると考えます。</p> <p>他にも人口減少を無くしていくために考えるべきことはどの年代、性別を対象にしていくかであると思われる。というのも20~30代と幅広く設定するのではなく、例えば20代(24.5.6)あたりの子育て世代をターゲットにというように具体的な年代、どういった世帯を狙いにしていくかを考えることでよい街づくりがされていくと考えられる。幅広く考えてしまうと浅く曖昧な街づくりになってしまい結果として誰にも刺さらない魅力のない街になってしまい社会増は叶わぬ結果になってしまう。今日の人口減少は避けられない事実であり今後さらに深刻化すると思われる。それと向き合うには自治体同士の協力も必須になってくるのではないかと考えられる。</p>	県土・まちづくり
21G01301	<p>プロジェクト19 多文化共生</p> <p>多文化共生において課題となるのは、外国籍県民にどこまで県民としての行政に対する権限を持たせるかどうかである。外国籍の県民はその町で暮らし、日本国籍の住民と協力・または共生している。しかし、外国籍がゆえに日本の文化や常識のずれが存在することもある。ここで、外から来た外国人だからといって日本の常識を押し付けるのではなく双方が納得できることを模索することが重要である。</p> <p>しかし、そのような外国籍県民がより暮らしやすくするためには行政が外国籍県民の意見を取り入れなければならない。ここで争点となるのは外国籍の意見の取入れ方にあると考える。直近で話題となっている外国人の住民投票である。東京都武蔵野市の議会に提出された条例案には外国人の住民投票の条件を他の自治体より大幅に緩和した条件(3か月以上滞在)で認めるものであった。確かに、外国人の意見等を取り入れるために住民投票を活用することはとってしかなるべきだと考える。しかし、たとえ住民投票に法的拘束力がないとしても容易に外国人に投票権を与えることは日本における地方自治を脅かす可能性があると考えます。昨今の地方分権の流れも考慮すると国家全体への影響も少なからず考えられる。ゆえに、外国籍県民等の意見の取り方には慎重にならなければならない。</p> <p>そのためには条例等に頼らないかたちでの外国人の意見の取入れ方を考えなければならない。パブリックコメント等の意見収集は拡充していき、住民投票等の判断決定はどのレベルまで外国人の参加を認めるべきかを考える必要があると思う。</p>	県民生活
21G01401	<p>プロジェクト7 観光</p> <p>新型コロナウイルスが落ち着けば観光は日本、ひいては神奈川県の経済活性化に大きな役割を果たすと思われる。そのため、今後は観光の際に用いられる交通を整備するということが求められるのではないだろうか。それは、自動車道路の渋滞の改善、満員電車の緩和などである。国内からの旅行者はレンタカーなどを借りての観光も多くなると予測される。その中、曜日にもよるが観光地付近などでは交通渋滞の発生の可能性が高く、渋滞が起これば経済的損失も出てくる。また、電車については海外からの旅行者が多く利用するだろう。しかし、時間帯によっては満員ということもあり、日本の電車に慣れていない人にとってはとても不便なものとなり、魅力も減ってしまう。そういったことから、神奈川県として交通状況の改善が必要であると考えます。</p>	産業・労働
21G01402	<p>プロジェクト14 学び・教育</p> <p>情報技術の発達によりITの重要性がさらに高まっていく中、ITに精通した人材を育てるためには、国だけではなく、神奈川県としても積極的にITについての学習に取り組む必要がある。国ではGIGAスクール構想といったようなものに取り組むなどしているが、神奈川県としての取り組みはそれほど無いように感じる。そのため、かながわランドデザインのプロジェクトとして、中学生や高校生はもちろん、それ以下の世代や高齢者世代までがITについて学んだり、触れることができる機会といったものを整備することが求められると考えます。</p>	教育・子育て
21G01501	<p>かながわランドデザインの各プロジェクトについて、県が取り組むべきことは新型コロナウイルス以外の新たな感染症への対策だと考えました。新型コロナウイルスが感染拡大し始めてからの日本政府の対応は遅いのではないかと去年にニュースなどを見て感じていました。新型コロナウイルスの対策がしっかりし始めたのも最近だと感じていて、横浜に外国の船を受け入れていたこと。今年の夏は東京オリンピックの影響が多いと思いますが、神奈川県の1日の最大感染者数が2000人を超えていたことも多くあったと記憶しています。東京オリンピックが終了してからは感染者数も減少傾向になり、今では1日10数人程度に収まっています。このように新型コロナウイルスが拡大して2年経った今でも感染者は0にはなっていません。もしこの先、新型コロナウイルス以外の新たな感染症が拡大したときに今回のように対策をしていなかったり、対応が遅れたりすると感染症を減らしていくことに大幅な遅れをとってしまうので、今のうちから新型コロナウイルス以外の新たな感染症への対策に県は取り組むべきなのではないでしょうか。</p>	安全・安心

意見整理番号	意見要旨	分野別
21G01601	<p>私が考える取り組みとしてあげたいのは、安全安心のまちづくりです。神奈川県では、すでに災害対策や安全対策に力を入れているように感じました。さらに神奈川県が良くなってもらえるように、行政と自治体が協力していくことが大事になってくるのではないかと感じました。警察や防犯カメラが常に活動していても、すべてが見れるわけではないと思っています。そこで自治体の人々の協力が必要になってくるわけです。不審者などの出現時間は小学生など子供たちが外に出ている時に多いといわれています。朝の通学や帰りの下校の時間が怪しいです。親が常に迎えに行くのも共働きをしている家庭からしたら困難です。そこで自治体の人々が防犯パトロールを行う必要があります。数名でもパトロールに回っていたら安心できます。また、自治体の人と子供たちの繋がりもできるので、顔見知りが多くなり、近所付き合いも活発になっていくと感じました。それともう1つの取り組みとして、厚木市でも行われている「愛の目運動」がいいのではないかと感じました。こちらの内容としては、朝の「いってらっしゃい」をするときに、家の中でするのではなく、玄関の前や家の外で行うことによって、子供たちの様子を最後まで確認することができるという運動になっています。この2つの取り組みが合わさることで、不審者などの犯罪も少なくなり、また、多くの人が活動しているので窃盗の犯罪防止にもなっています。この2つの取り組みを行うことで、さらに安心安全なまちができると信じています。</p>	安全・安心
21G01701	<p>神奈川県は小さい面積ながらも自然や商業施設の両立ができており、住みやすい県であるように思う。コロナウイルスの発生によって次第にメンタル面や生活の基準が変わっていく人が多くなったように感じ始め、さらにはそれを実際に行動に移しているようにリモートワークを実施している企業が多くなり、都心を離れて生活する人が増え始めている。これを考えたときに、神奈川県は自然があり交通の便が良いこともあり県内で田舎の地域に移住する人がいるのも事実である。ここで神奈川県の自然に目を向けたいと思う。神奈川県は生物多様性の保全、森林と里地里山の保全と活用、都市のみどりの保全と活用、動物愛護管理の推進を行っており、目標として生物多様性の認知度を上げることや水源の森林づくり事業で行った森林整備の延べ面積を大きくすることが掲げられている。これは移住する人にとっては重要な項目であるように考えられる。移住する人の考えとして、まちの雰囲気や自然が良いということが挙げられ住みやすいことが前提としてあるため、県内の自然環境を良くすることは移住者を増やすだけでなくまちの雰囲気を良くしたり活気を上げることとしても有効であるように考えられる。また自然を保つことは、地球温暖化対策にもつながり小さなことを積み重ねていくことで住民の信用を得たり意識の変化にもつながると思われ。まちづくりにおいて自然は必要不可欠であり、商業施設とともに両立させていくことが良いまちづくりへの道筋であると考えられる。</p>	県土・まちづくり
21G01801	<p>プロジェクト9 減災 現在の神奈川県が襲われる災害としては南海トラフ地震等が挙げられると考えられ、そのような災害に対する防災・減災の取り組みが必要だと考えた。その根拠として神奈川県の人口や経済規模が挙げられ、対策を取らなかった場合の被災者や、また経済活動への打撃等がより深刻になると考えられるからである。従って、ハード・ソフト施策双方の面での災害に対する強度づくりというものが重要になってくると考えた。具体的手段としては、まずハード面では学校等の公共施設の耐震化や非常食の保管等が挙げられ、またソフト面では災害後3日間暮らせるように市民に対して防災準備を推奨するといった手段が挙げられると考えた。</p>	安全・安心
21G01802	<p>プロジェクト18 地域活性化 神奈川県における消滅可能性都市としては三浦市等が挙げられる。三浦市は神奈川の東側に路線を引く京急の本線があることから、こういった活力の失われている自治体の活性化は重要だと考えた。具体的には京急が実施している「三崎マグロ切符」といった事業が活性化に効果的だと考え、これらの事業に地方公共団体等が主体的に支援をしていくことが望ましいのではと考えた。</p>	県土・まちづくり
21G01901	<p>プロジェクト3 高齢者福祉 今後は神奈川県内だけでなく、全国的に見ても高齢者が増えていく時代である。そのため、IoTなどを活用した福祉器具の開発、導入が必要ではないかと考える。例えば高齢者施設を挙げて考える。人口減少が進んでいると共に、生産年齢人口も減少している。その一方で、高齢者が増えていくという社会構造が容易に予想される現代社会において、高齢者施設や福祉従事者の役割や価値は高くなる。しかし、高齢者の福祉を行う人材が人口減少を根拠に減ってくるという考え方もできる。そこで、IoTを活用した器具が活躍するのではないかと考える。少ない人数で多くの高齢者の福祉を行なうのは従来のやり方では難しい。しかし、便利な器具や機械を使うことで少ない人数でも多くの人の福祉を行なうことができると考える。IoTを何にどのように活用してどんな器具を作るかというのはアイデア次第で無限大である。その器具が直接「福祉」という分野に関係ないとしても、役立つことがあるかもしれない。事例として、家にある電気ポットに無線通信機を内蔵することで離れた場所にいる人にポットの利用状況を知らせるというものがある。これを使えば、現在のコロナ禍でなかなか帰省できないという状況においても、ポットの利用状況を通じて安否確認をすることができる。このように、「福祉器具」として扱われないものでも新たな価値を生み出して福祉器具として活躍できるものを作り出せるのがIoTである。よって、その研究や開発、積極的な導入が今後必要ではないかと考える。</p>	健康・福祉

意見整理番号	意見要旨	分野別
21G02001	<p>プロジェクト3 健康長寿 「全国的に少子高齢化の流れが進んでいる。神奈川県も首都圏であり、大学生などの若い世代の流入があるが、やはり、少子高齢化の影響を少なからず受けている。増加していく要介護高齢者に対応できるだけの人の確保はむずかしくなっていくが考えられる。そのためどうやって、介護が必要な人を減らしていくかが、鍵といえよう。技術面、行政面様々な方面からの支援があると思うが、私は一つの案として「健康長寿条例」のようなものを制定し、県民の意識から高齢者支援を行うようにするのはひとつであり、この条例を法的根拠に財源確保までを視野に入れたい。」</p>	健康・福祉
21G02002	<p>プロジェクト5 エネルギー 再生可能エネルギーをはじめとした、新たなエネルギーの発見はカーボンニュートラルの思考をはじめ様々な点から急務といえる。新たなエネルギーをSDGsを意識したものにするには、現在の世界情勢からして重要なことである。「SDGsモデル都市」の制度に似たものをする事で県内における新たな産業の形を生み出すことにも繋がると考える。</p>	エネルギー・環境
21G02101	<p>私は今後の神奈川県を見越して高齢者の為になり更に地域の活性化を図るには老人ホームとホテルを合体させた施設を増やしていくべきだと考えます。また、2泊限定などにして人の出入りを増やすことが今後、人口減少、少子高齢化社会になっていき低迷する神奈川県を打開できる方法だと感じたため取り組むべきだと考えました。理由としては、今後高齢者が増えるため必ず必要になるものであり、作るには若手が必要です。どうしても、力仕事が必要な場面では高齢者には役に立てません。今後更に少子高齢化が進むのであれば出来るはずだったものも人手が足りず出来なくなったりとなってしまうので今無理をしてでも増やすべきというのが1つ。高齢者の死因の一つに孤独死があるため人との関わりを増やすことを目的として短期でも老人ホームを体験してもらい安心感を与えることが必要。現在、コロナウイルスでGOTOトラベルがストップしていましたがまた旅くじなどで盛り上がっていてワーケーションも流行っていることからホテルと合わせることで高齢者からしたら一人では行きづらいが家族で観光がてら行ってみる。家族からしたら高齢者が入所することで会いに行くついでに観光もできるというメリットに気付けるからです。そして、2泊など限定にする理由としては、飽きるまで観光してしまえば次行くのは当分先で良いやという気持ちになります。期間が決まっていれば観光できる場所が限られてまた行きたいという気持ちになる。そして、名物を食べたりみることによって経済が回り活性化に繋がる為この取り組みをするべきだと考えました。</p>	健康・福祉
21G02201	<p>現在の教育では、コンピュータやタブレットを活用した「ICT教育」や英語学習の推進、少人数編成での学習指導などと多岐にわたる教育改革が行われている。これらのことを踏まえた上で、神奈川県内でも多くの学びづくりプランが立てられているが神奈川県では、みなとみらいなどの横浜の都市部から鎌倉や箱根などの落ち着いた雰囲気を持つ観光地まで多くの地域がある。神奈川県の特徴を生かした事例を「それぞれの地域がどのようにしたらよくなるか」や「どのような政策を考えたら良いのか」などを現在推進されているグループ学習を通したり、実際に街を歩いてみて何を感じたのかなどをパソコンなどにまとめて発表をしようという学習取り組みを実施をしていくと良いと考える。このような、学習を取り入れることで自分の住んでいる地域・県の理解がますます増え、グループ学習を通して他人の意見を聞いて理解してそこから学びを深めることも出来る。パソコンやタブレットを使用した発表を行うことでICT教育の効果が更に上がるなどのメリットがある。学校生活面においても特に不登校問題について対策していくべきだと思う。令和元年度時点での神奈川県内の小・中学校の長期欠席者数が1万8345人と昨年度と比べて増加しており、また、高校では6516人と減少傾向にはあるが0にはなっていない。だが、全国と比べても多い。このような長期欠席者に向けたフリースクールの充実を拡大していくべきだと考える。</p>	教育・子育て
21G02301	<p>プロジェクト3:高齢者 私はプロジェクト3の中でも特に「B:認知症の人にやさしい地域づくり」について取り上げたい。私はBについて「“認知症の人にやさしい地域”というの、何をもちてそう呼べる地域なのか?」という疑問を抱いた。認知症は、その人の症状の進行具合から物忘れ、徘徊、被害妄想など症状の内容がそれぞれ異なる。そのため、“認知症の人にやさしい地域”というフレーズが抽象的であるように感じた。ただ理想を謳っただけとも受け取れる。私の家族にも認知症の祖母がいるため、これは私にとって非常に身近な課題である。 これらのことから、私は「認知症の人にやさしい」ではなく「認知症である身内を抱えている家族」に優しい地域を目指すべきだと考える。家族は日中働いていて認知症の身内に寄り添うことはできない。認知症の高齢者を家で1人にさせている状態は非常に心配である。この部分を県が重点的にサポートすることはできないだろうか。具体例としては「訪問サポート」が考えられるが、私は単なる訪問サポートではなく「認知症の人に対応できるスキルを持った担当者による訪問サポート」でなければならないと考える。専門的なスキルを少しでも持っている担当者が対応することで、家族の負担の大きな軽減に繋がるのではないかと考える。 このように「認知症である身内を抱える家族」まで支援の対象に取り入れることが、“認知症の人にやさしい地域”という目標に近づくのではないかと考える。</p>	健康・福祉
21G02401	<p>プロジェクト3 高齢者 「日本全体を見ても、少子高齢化が進む世界でこれから高齢者はどんどん増えてくる。これらを見ると高齢者に優しい地域づくりなどもそうなのですが、高齢者の施設と高齢者を介護する人たちなどを増やしていくべきだと思うし、安心できる環境づくりも大事だと思った。」</p>	健康・福祉

意見整理番号	意見要旨	分野別
21G02402	プロジェクト6 経済のエンジン コロナウイルスの影響もそうだけど経済が中々回っていないのが神奈川含め日本の状況ではある。企業の活性化もすごく大事だと思うけど、資源不足の問題が大きいし、地球温暖化を緩和する観点からも取組を点検してほしいと思った。	産業・労働
21G02403	プロジェクト7 観光 「これもコロナウイルスの影響で観光客が減っているのはしょうがないと思いますが、まだ安心してこれないだけだと思います。だから感染対策がいかに大事かわからされたと思うので、これからもこの状況は続くと思うので、継続力を大事にしてほしい。」	産業・労働
21G02404	プロジェクト16 スポーツ 「今この世の中は外で遊ぶというよりは中で遊ぶ子供が増えている。その原因はテレビゲームやスマートフォンなどで外で遊ぶことより増えつつある。だからスポーツ人口も減ってきているこの状況を何とかする必要がある。」	県民生活
21G02405	プロジェクト17 雇用 新型コロナウイルスの影響で職を失った人は少なくない。雇用は幅広く見るべきだと思う。働かなければ生きてはいけなのでそこは改善すべき点だと思う。	産業・労働
21G02501	私は、かながわグランドデザイン総合計画を見て、プロジェクトと1つ1つを、柱という形でまとめて、その分野ごとに、分かりやすく分別しているのは、内容を理解しやすくとてもわかりやすい。各々のプロジェクトの指標実績なども、具体的な数値で書かれていて、達成しようとする努力がみられる。そのいろいろなプロジェクトがある中で、私は、特に気になったプロジェクトが3つある。1つ目は、柱Iの健康長寿のプロジェクト2の、医療である。医療は、今世界で流行している新型コロナウイルスによって、全世界が、逼迫している。そんなコロナ禍なので、医療に力を入れていくという方針を持っているのは、信頼できるプロジェクトである。具体的な取り組みの中に、医療人材の育成・確保と書いてあり、未来医療に力を入れていこうという意思が伝わる。しかし、肝心な現在では最も解決すべき課題の新型コロナウイルスについて、具体的な取り組みや、指標などで説明されていないので、そこの部分を加えた方が良い。	健康・福祉
21G02502	2つ目は、柱IIIの安全・安心のプロジェクト9の減災である。日本という国自体、災害が多い国であり、地震大国でもあるので、その部分で、指標がしっかりと書かれていると、信頼ができ、プロジェクトももうまく進んではいけないのか。	安全・安心
21G02503	3つ目は、柱IVのひとのチカラのプロジェクト16のスポーツである。スポーツは、現在コロナ禍によって、スポーツの観戦や大会などが規制されている影響か、子供や成人の運動不足が問題となっているなかで、この指標のように、子供や大人のスポーツの実施率を上げると具体的な数字で掲げられているので、とても信頼できるものである。	県民生活
21G02601	確実に到来する超高齢社会などへの十分な対応を図るとともに、東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故に起因する社会環境の変化への対応を行うため、2025年を展望し、「『いのち輝くマグネット神奈川』を実現する」を基本理念に掲げ、神奈川の将来像や政策の基本方向をまとめたものだ。	県土・まちづくり
21G02603	一人ひとりが個性や適性に応じた生き方、働き方ができるよう、男女共同参画に関する意識啓発や、女性が就業を継続できる環境づくりに引き続き取り組む必要がある。	県民生活
21G02701	プロジェクト2 医療 コロナ渦である現在、医療機関の整備・最先端医療技術の発達が必要不可欠な世の中になっています。なのでプロジェクト2医療での今後の課題・県が取り組むべきだと思うことは3つあります。まず1つ目は、医療機関の整備です。コロナウイルスはワクチンの接種などで感染者は減少してきました。しかし最近また新たな感染症であるオミクロン株が発見され国もいち早く感染拡大防止のため政策を出しましたが、もし仮に感染拡大した場合にも病床が足りるように整備する。コロナウイルスのときは病床が足りず病院に受け入れを拒否されるといったことがありました。2つ目は医療技術の促進です。コロナウイルスはワクチン接種により感染拡大は減少しましたが、海外ではコロナウイルスのワクチンを3回接種した人がオミクロン株に感染しているためコロナウイルスのワクチンを接種したからといってかからないという保証はないので、いち早くオミクロン株がどういったウイルスなのか、ワクチン2回接種と3回接種ではどれくらいかかりやすさが変わるかなどを調べオミクロン株に適したワクチンをつくる。3つ目は医療従事者を増加させることです。コロナウイルスの際には医療従事者に大変な苦勞をかけた。なので今後また感染者が激増したときに少しでも医療従事者の負担を削るために若い世代の人材育成に力を入れるべきだと思う。以上3つが私が医療の面で今後の課題・県が取り組むべきことだと思います。	健康・福祉

意見整理番号	意見要旨	分野別
21G02801	<p>大きく分けて二つあり、一つは神奈川では交通量が多いため、交通事故も多い。そのため、地元住民が危険だと感じた道路に標識を立てるなどの策が必要だと感じる。また、交通だけでなく各分野で様々な意見を住民から伝えやすいような方法が求められると感じた。私がそう考えた理由としてはまず調査を行うよりも効率が良く、地元住民が危険であると感じているものは確実に危険であるためだ。そのため調査に行く時間や労力を避けて確実に危険であるポイントを発見し、処理するまでの時間がスムーズに行うことができる。次に交通の部分だけでなく、その他の分野でもこのようなシステムを作ることで各地域の人々がより住みやすく安全な街づくりができると感じた。具体的には、携帯電話のアプリ等で活動できると考える。そうすることでどこにいても多くの人々一人一人が気軽に情報を発信できることからだ。このような取り組みをすることで県全体が大きく変わるのではないだろうか。</p> <p>二つ目は高齢者に耳を傾けることだ。今日本では全体的に高齢化が進んでおり、高齢者に耳を傾けるということは多くの市民の意見を聞くことができるということと同じ事であるため、高齢者の意見を尊重すべきだと感じた。</p>	安全・安心
21G02901	<p>プロジェクト10 治安</p> <p>住民が暮らしていく上で、犯罪や事故のない安全で安心なまちづくりが必要である。なぜなら、住民が安心して生活を送るためにその求める一つとして安全・安心なまちが挙げられるためである。犯罪が起きる頻度が高いような治安の悪いまちに自ら暮らしたいと考えている人はいないと言っても過言ではない。だからこそ、治安維持に力を入れることで、住民の不安を取り除くことができるのだ。具体的な取組には「県民の不安を与える犯罪の抑止・検挙と交通事故の防止」があり、現在においてその実績は上がっている。それから、警察だけが治安を守るのではなく、その地域住民がパトロールや見回りなどのボランティア活動が必要だと考える。例えば、小学生の通学路でパトロールを行うことで、万が一トラブルや事故に見舞われた際に直ちに対処することができる。小学生はまだそのような事態に遭遇した時に冷静な判断をすることは難しいことであり、だからこそ地域の大人が見守ることで、保護者も安心して子どもを送ることができるのではないだろうか。さらに、そうした取り組みは地域ならではの特色であり、そうして愛着を持てることにもつながることで、それが定住効果に関しても直結すると考える。安全で安心なまちづくりは、住民のニーズに応えることで、定住促進に努められ、まさにこれは相乗効果なのである。</p>	安全・安心
21G03001	<p>私が神奈川グランドデザインプロジェクトの「評価報告書2019」を閲覧して気になった点は、健康長寿の柱に属するプロジェクト2医療の分野です。</p> <p>特に気になったのは医療人材の育成・確保という点です。総合計画審議会からの意見にも書かれています。初期のコロナウイルス感染症対応の時の様に突如発生した新種の病原菌の対応に医療従事者が病院に泊まり込んでまで働く状況が増え、精神の負担が大きくなり離職を考慮してしまうような状況に陥らないように、医療従事者への支援を今後増やしていく必要があると感じました。</p> <p>例えば、現段階から緊急病棟を建設し、コロナウイルスに次ぐ感染症が発生した時に、効率よく感染者の隔離作業を行えるように備える必要があると思います。</p> <p>他にも、医師の負担を減らすために最新医療機器を導入を行う必要があると思います。ICT技術を活用した最新の医療機器を取り入れ、その機器の使用法に精通した方による使用方法の実演などを事前に行うことで、緊急時の医師の負担を減らすことができると思います。</p> <p>また、緊急時に普段の給料とは別に特別手当を石に行政から支給することも今後重要になっていくと思いました。新型のウイルスが流行した際に最前線に立つことになるのは医療従事者の方々ですので、激務に応じた特別手当を支給することは医療従事者の方々が「がんばろう」と思える精神的な支えになると思うので支給できるように取り組んだ方がいいんじゃないかと思いました。</p>	健康・福祉
21G03101	<p>プロジェクト23都市基盤</p> <p>私は新しい移動手段を日本でも柔軟に認めても良いのではと考えます。例えば数年前に話題になったセグウェイも日本では道路交通法によって公道では使うことが出来ません。新しい文化が訪れても日本では保守的な考えを持つ人間が多いためなかなか受け入れられません、もちろん日本の道路事情で不可能ということは理解していますが、新しい乗り物を日本でも認めれば日本の日常は大きく変わりより刺激的な毎日が送れるとも考えます。そのため神奈川県だけでも新しい乗り物を公道でも走行可能にするなどの実験をもっと積極的に行うべきだと考えます。ルール改正は困難ですが神奈川県独自の取り組みを行うことで他県からの注目も大きくなるのではないかと考えます。先ほど話題に出したセグウェイが街中を走ることを想像すると様々な課題が浮き彫りになることは簡単に予想できます。ですがこのような乗り物が日本で気軽に使用できるようになれば国民の意識も大きく変わるということが期待できます。セグウェイはすでに製造が終了していますが、今後もし自転車よりも遥かに便利な新しい移動手段が誕生した場合日本はすぐに使用可能になるのでしょうか?おそらく法改正などで数年の時間を要すると思います。なのでそんな未来を想定するならば今から受け入れの土壌を整えておく必要があると思います。</p>	県土・まちづくり
21G03201	<p>各プロジェクトでの今後の課題や県が取り組むべきだと思うことについて、まず柱1のプロジェクト3高齢化について、神奈川県内だけでなく全国的にも高齢化が進んでいて、高齢者に対する様々な対策が重要であるが、高齢者が安心して元気に暮らせる神奈川県を目指しているが高齢者が増加している分認知症になる人も増えていて、そういった認知症である方についても安心して暮らしができる対応が必要であるし、そしていかに認知症にならないような対策を取るかも必要で、特に一人暮らしの高齢者は家にいるばかりではボケていってしまうので様々なイベントを地域で開催し、出来るだけ高齢者が外に出て活動する機会を増やし、認知症対策を行うことが必要であると思う。</p>	健康・福祉

意見整理番号	意見要旨	分野別
21G03202	次に柱4ひとのチカラのプロジェクト16スポーツについて誰もが生涯にわたりスポーツに親しめる社会の実現となっているが私は神奈川県はスポーツに親しみやすい環境下にあると思っていて、それはプロのスポーツチームが多いという点である。Jリーグにフォーカスすると47都道府県で最多の6チームが神奈川県の各地域をホームタウンとしている。このように多くのプロスポーツチームが神奈川県にはあるがそれにより大規模なスポーツイベントなどもプロチームの力を借りれば行いやすいと思うし様々なスポーツの活動が出来るのではないかなと思った。	県民生活
21G03301	プロジェクト9 減災 自然災害が多い日本では、災害が起こることに慣れてしまっている人もいると考える。それは実際に災害が起きた際に冷静に対処することにつながるため悪いことではないが、想定をはるかに超えるほどの大きな災害が発生した際に油断を生まないようにしなければならない。常に最悪の状況を想定した行動ができるように意識の向上が必要であると感じた。 また、新型コロナウイルスのパンデミックも災害の一つであると考え。人と助け合うことはもちろん大切だけれど、最終的に自分の身を守るのは自分だという意識も持ってもらえるような取り組みが必要である。	安全・安心
21G03302	プロジェクト13 子ども・青少年 新型コロナウイルスの流行によって、子供も多くのストレスを抱えているということが報道されていたが、子供のストレスは新型コロナに限らない。子供には子供の社会があり、その中でうまく生きていかなければならないが、それには大人の助けが必要不可欠であると考え。特に現代で重要なのは情報・メディアリテラシーである。スマートフォンやタブレットなどの機器を、子供は大人の想像よりも早く使いこなすが、それにリテラシーが追い付かないことは多くあると考える。そうなってしまうと、ネット上でトラブルに巻き込まれてしまう恐れや、陰湿ないじめのための道具にしてしまう恐れもある。うまく使えば便利な道具の正しい使い方、正しい情報の見極め方を教える教育が必要である。	教育・子育て
21G03401	プロジェクト16 スポーツ 神奈川県内でも人口減少という問題に今後向き合っていくなくてはならない中で、スポーツを通して身体を動かして健康な身体づくりを促進することができる。地域ごとに小規模でも大規模でもよいのでスポーツ大会を開くのが良いと思う。子どもからお年寄りまで参加できるようなスポーツ大会を開催することで地域住民同士の交流の場となるだけでなく、身体を動かして健康寿命を延ばすことができる。地域の学校や公園等を利用し、費用がかからないよう工夫することで、地域活性化、健康、交流などスポーツを通じてたくさんのメリットをもたらすことができると思う。	県民生活
21G03501	プロジェクト7 観光 神奈川県の観光について、具体的な取り組みとして観光資源の発掘・磨き上げ、戦略的プロモーションの推進、受け入れ環境の整備の三つ挙げられていましたが、観光資源の発掘・磨き上げに関して、とても良い取り組みだと感じました。 観光資源を新たに作るのではなく、まだ価値を見つけられていないものを探して、「ないものねだり」ではなく「あるものさがし」であることが重要だと習ったことがあり、今あるものに新たな価値をつけることによって地域に住む人にも興味を持ってもらう取り組みが必要だと感じます。 また、三つの具体的な取り組み以外に神奈川県の観光について課題だと感じる点は、主に2つあります。 1つ目は、観光者増加に伴うオーバーツーリズムなどの観光災害の対策が必要という点です。私は神奈川県に住んでいるので、鎌倉などの観光地に休日遊びに行くことが多いのですが、特に駅周辺でのゴミのポイ捨てや自販機周辺のビン・缶・ペットボトル専用のゴミ箱からゴミがあふれ出しているところをよく目にします。ゴミの問題は観光地の景観を損ねるため、ポイ捨てに罰則を与えるだけでなく安易にポイ捨てできないような取り組みが必要だと考えます。 2つ目は、長期休暇に観光地で起こる慢性的な渋滞への対策が必要という点です。 夏休みでは、湘南周辺で渋滞が多発しています。湘南以外でも観光地周辺では渋滞が発生し、交通事故に繋がることが多いので、湘南周辺では渋滞緩和のために車線を増やすことや道の駅など車で立ち寄れる場所をつくり道路上の車を減らすような取り組みが必要だと考えます。	産業・労働

意見整理番号	意見要旨	分野別
21G03601	<p>プロジェクト7 観光</p> <p>私はこれからの神奈川県における観光の発展を促すためには、新しい観光資源や観光地を、積極的に発見する事や、プロジェクトにあるように、日本国内だけではなく、外国人観光客に目を向けて、外国人でも神奈川の観光を不自由なく行える環境を今よりも整える事が最も重要であり、力を入れて取り組むべき課題であると考えます。</p> <p>まず、新しい観光資源の発見については、横浜など、現在神奈川県には、日本全国の中でも有名な観光名所がいくつか存在しているが、神奈川県には、まだ全国に知られてはいない魅力や、場所が、いくつも存在すると思います。そのような、まだあまり知られていない魅力を積極的に調査し、発見をして、全国にアピールすることに力を入れ、横浜など全国からも観光客が来るような、観光地に作り上げることが神奈川の観光の発展につながっていくのだと思います。</p> <p>また、外国人観光客の受け入れ体制については、まだ完全に整っておらず、不自由な思いをする外国人がいるということが課題として残っていると考える。外国人がどのようなことに本当に困っているのか、何を本当に必要としているのかという事をまず知る必要があると考えます。そのために、神奈川県に、来日してもらった外国人に対して、満足度アンケートのようなものを実施して、外国人のリアルな感想を聞き、その意見に出来るだけ沿った観光地の環境づくりを進めていくことが、外国人観光客を増やすことにつながるのではないかと考える。</p>	産業・労働
21G03701	<p>プロジェクト13子供・青少年</p> <p>徐々に人口減少の傾向が見られてきて、団塊の世代だ後期高齢者になっていき今後急激な人口減少が予測される中で、人口を増やすためにも出生率を高めなければならないと考えられるので、家庭で子供を1人でも多く産んでもらうために更なる補助や補助金を付与することなど重要になってくると思う。子供が多いとその分かかるお金も莫大なものになるので、いかにその点を補助出来るかが今後の人口減少に耐えるために欠かせないと私は考えている。</p>	教育・子育て
21G03801	<p>プロジェクト3 高齢者福祉</p> <p>ICTを活用した業務改善と効果、多職種連携による外出支援計画に基づく支援、働きやすい職場の環境作りなどの取り組みが必要だと考える。通信・伝達・交流といった、人と人とのつながりをよりよくするために活用できると考える。ICTの活用は職員間のコミュニケーションを円滑でき、ストレスが軽減に有効だと考える。コミュニケーションの課題解決と、職員間の連携を目的に、ICTのシステムを導入が考えられる。情報の整理とペーパーレス化を目標に掲げ、導入するシステムの検討や、操作方法のマニュアル作成などにより高齢者が住みやすい環境の地盤固めが必要だと考える。</p> <p>外出支援計画については思いやり、楽しさ、家庭的なサービスの提供で明るく楽しい雰囲気のなかで、利用者と普段の会話をするなかで、本人の意向や希望を引き出すことができると考える。自分らしく過ごしてもらうために必要だと考える。高齢化や疾患を理由にさまざまなことを諦めてしまいがちで、意向や希望がネガティブになってしまうため高齢者に再び充実した生活を送ってもらうことが重要になると考える。職員が働きやすい職場づくりについては実例として茨城県石岡市で平成7年10月に特別養護老人ホームやさとに習うことができると考える。高齢者福祉を充実させるために職員のワークライフバランスを実現するために取り組む必要があると考えます。全職員にとってよりよい職場にすべきと考えようになり、全職員を対象としたワークライフバランスに取り組むことが重要だと考える。</p>	健康・福祉
21G03901	<p>プロジェクト3の高齢者においては、高齢者が最後まで充実した人生を送ってもらうために、地元の学生や社会とつながりを持つように域の人々との交流会や、遊びの場を増やすことで、高齢者の方々が楽しいもっと生きたいと感じるような場所を作ることで健康や生きがいにつながっていくのではないかと思います。</p>	健康・福祉
21G03902	<p>プロジェクト8の農林水産においては、各地方の特産物をその他各都道府県に広めるということが重要ですがそこで、その特産物を広めるために各都道府県で物産館などで販売する場所を増やして販売をし、神奈川の特産物を使った料理でそのおいしさを伝えることがもっとできたらよいと思います。またこれは地域活性化にもつながると思います。</p>	産業・労働
21G03903	<p>プロジェクト9の減災においては、災害が起きた時に素早く対応できるように医療機関や消防、警察などが連携していくべきだと思います。いつ災害が起きてもいように防災グッズを常に常備しておくことで防災が身近に感じられよりよい安心安全なまちづくりができるように子供だけではなく、大人の人にも防災訓練や避難訓練の取り組みを増やすといいと思います。</p>	安全・安心
21G03904	<p>プロジェクト14の学び・教育においては、将来自分が何になりたいか、何がしたいかの目標・目的を立てることで今後自分が何をしないといけないのかを考えを作るきっかけの場所になるような教育機関を作ることが重要なのではないのでしょうか。</p>	教育・子育て

意見整理番号	意見要旨	分野別
21G04001	<p>かながわグランドデザイン 第3期実施計画 プロジェクト編 プロジェクト14 学び・教育</p> <p>近年では学校教育にICTを使用し始めており、私が中学や高校に通っていた時は、学校に共通のタブレットが丁度使われるようになった。授業で試験的に使用したりしたことはあり、また情報の授業は行っていた為、昔よりICTを使う機会は多かったと考える。</p> <p>しかし、最近の高校生以下の学生は自分たちが使っていた時よりも更に授業や課題などでICTを利用する機会が多くなってきたと感じた。しかし、私の場合は自分用のPCや通信環境が整ったのが大学に入学する時で、親が出費してくれた為、今でも不自由なく使うことができているが、環境を整えるための費用が高い等の様々な事情があり自分用のPCやWiFiの通信環境等が用意できない人もいると考える。更に近年ではコロナの影響でオンライン授業といったICTを利用する機会が増えていった為、学校内でのICT活用以外にも家での通信環境を揃えるための支援を県で行い、小学生から大学生まで多くの学生の通信環境を整いやすくさせることで、学校の授業に更にICTを使用する機会が増えたり、これからICTを多く活用していく時代になると思うため、使える人と使えない人の格差が減っていくのでは無いかと考える。</p>	教育・子育て
21G04101	<p>プロジェクト14 学び・教育</p> <p>コロナ禍もありオンライン授業を行う機会が増えたが、経済格差や情報格差によって授業を満足に受けることができなかつた児童・生徒がいるということを知った。そのため、オンラインでも満足できるような体制を整える事が早急に必要だと考える。具体的には、タブレットの貸与、wi-fiなどのインターネットの環境の整備である。横浜市などの都市圏では進んでいるところも見られるが、地方によってはオンライン授業に対応する事ができないということを知った事もある。インターネットによる教育格差を埋めなければ、オンライン授業問わず、将来において情報格差がさらに開いてしまう可能性も考えて、インターネット環境の整備などを普及されるべきだと考える。</p>	教育・子育て
21G04102	<p>プロジェクト21 環境</p> <p>マイクロプラスチック問題など様々な環境問題が課題となっているが、私は車などから出る温室効果ガスの削減に対して取り組むべきために電気自動車の充電スタンドを更に増量すべきだと考える。日本は二酸化炭素の削減を2050年までに実質ゼロとするという声明や2030年にガソリン車禁止など二酸化炭素削減に対して政策がとられているが、ガソリン車の代わりとなる電気自動車の充電スタンドを見かける事が無いように思う。ガソリンスタンドにも充電スタンドがあるが、あっても1台と少ないと思う。電気自動車などを普及させるためには充電スタンドを更に拡充させることによって電気自動車を利用する人が増加すると考える。</p>	エネルギー・環境
21G04201	<p>プロジェクト2 医療</p> <p>「コロナウイルスという現状で、重症化を上手く防ぐためにはオンラインでしっかりと診療しなくてはいけないと思います。病院にすぐに行けない人もいると思うのでそういったものがあるとそういった人にとってすごく嬉しいことだと思います。」</p>	健康・福祉
21G04202	<p>プロジェクト7 観光</p> <p>「私は神奈川に住んでいるだけあって、神奈川の観光地にほぼ行ったことがあるのですが、もう飽きてしまい行くところがなくなってしまいました。友達とも最近は県外に行くことの方が多いです。県外に遊びに行く人を減らすために、観光地を増やすか、リニューアルする必要があると思います。」</p>	産業・労働
21G04203	<p>プロジェクト16 スポーツ</p> <p>「すごくバカなことを言うかもしれないのですが、スポーツをする施設の料金がなくて手を出しづらいということです。この前友達とスポーツをしたいと言うことで、テニスをやろうとしました。そしてテニスコートを施設に借りるために調べていたら、全て予約が必要でそれに加え、料金がすごく高いので諦めることができました。これじゃスポーツを思い切つてできないなと思い書きました。」</p>	県民生活
21G04301	<p>プロジェクト7 観光</p> <p>観光客数が減少している中、観光客消費額を増やしていけるようにするには、SNSなどを利用して神奈川の観光地や良さを発信していく必要があると考えました。神奈川県内の主な取り組みとして、1観光資源の発掘、磨き上げとして、新たな観光の核づくりやインバウンドツアーの企画、商品化の促進。2戦略的プロモーションの推進として、鎌倉、大山、横須賀の日本遺産認定を契機とした歴史をテーマとするプロモーション、中国、台湾、ベトナム等のアジアの国や地域、欧米諸国をターゲットにしたプロモーションなど。3受入環境の整備として、観光ボランティアガイドへの支援やWi-Fi(無料公衆無線LAN)の整備促進などに取り組むなどがあります。その中でも2の戦略的プロモーションの促進について、よりよく発信していくためにSNSの活用が欠かせないと思っています。それはなぜかという、鎌倉、大山、横須賀の日本遺産認定を契機とした歴史的なプロモーションを伝え、実際に観光として来てもらうためには、知ってもらうと言ったことが重要になると考えているからです。それらの情報を知って興味を持ってもらえないことには、観光として行ってみたいと思ってもらえないことが多いからです。なので、若者を中心として観光に来てもらうために、情報や良さをSNSなどの情報ツールで発信していくことが、神奈川の観光業界を復興させることにつながると思います。</p>	産業・労働

意見整理番号	意見要旨	分野別
21G04401	<p>プロジェクト3 高齢者</p> <p>スポーツ教室の開催や生活習慣予防などによる高齢者の健康づくりを取り組むべきだと思う。生活習慣病の重症化予防のため対策を考えた。医療・医師・福祉が一体となり、連携していくことが必要であると思う。高血圧や糖尿病の抑制など今後の持続効果を見ながらケアしていくことが大切だと感じた。また健康づくりをしていくために健康づくりを行える教室や一緒に運動を行うなど、運動を習慣づけ、健康に対する意識を高めていくことも必要だと考える。他にも小中学校や地域との協働を行い、交流イベントを開催して軽い運動を行い健康づくりの拡大を目指して推進していくべきだと思う。日ごろ運動不足に陥りがちな高齢者に対して運動することを通して体力維持、健康づくりについて取り組む意欲を高めてもらうと共に教室などを通して、交流会やイベントなどに参加してくれた参加者の親睦を同時に図り、人という喜びが心身の健康の糧になることを考えた。仲間づくりの支援、そしてイベントなどに参加する人の呼びかけを行いより多くの人がいきいきとした健康づくりをしていけたらいいと思う。より多くの人が続けられるための配慮が必要だと思う。健康増進を目的にストレッチ、筋力トレーニング、リズム体操など簡単にできるものを開催し、介護予防事業などを考えていくことも大切だと思う。</p>	健康・福祉
21G04501	<p>私は神奈川県内の今存在する貴重な自然環境を死守していきたいと考えており、そのためには木や花などの緑を育てる環境を形成していくことや生物多様性の観点を重要視し、生物が住む環境を形成していくこと、絶滅危惧種になりつつある動物たちを保護していくべきであるのではないかと考えている。私は神奈川県出身であるが、使われていない土地がよく見られる。その土地を利用して緑を増やしていくことも1つの手であり、地域住民一人一人が家庭菜園など協力していくことも効果的であるだろう。また、環境分野の授業を選択しているが、絶滅危惧種になりつつある野生生物は多く目立ち、生物多様性を守っていくためにもその野生生物たちの存在を失ってしまうことを阻止するべきであり、保護するための活動を積極的に行っていくべきであるようだ。年々貴重な存在となっている野生生物を保護していくために、まず野生生物が住むことのできる地域を作り上げ、弱肉強食の関係が起こらないような環境を作っていくべきなのではないかと考えた。また、貴重な存在となっている野生生物が絶滅する原因となっているのは、人間による影響もあると考えている。例えば、人間の興味本位による乱獲が原因となっているのではないだろうか。その人間の乱獲が起こらないようにしていくためには、現在の絶滅危惧種になりつつある野生生物の現状についてや乱獲による野生生物、人間への影響についての内容が書かれたポスターを地域の中に掲示する活動を通し、情報発信をしていき、危機感を与えていくことが効果的なのではないだろうかと考えた。</p>	エネルギー・環境
21G04601	<p>プロジェクト7 観光</p> <p>「神奈川県にとって、三浦市のような海を強みにできる地域があることは幸運なことだと思います。地方から引っ越してきた私の身から言うと、実際そのような地域を活かすことができていないと思います。三浦市のような強みのある地域を活かし、神奈川県に観光客を呼び込むためにはSNSで宣伝することが有効だと思います。ネット社会となっている今、InstagramやYouTubeでの宣伝が可能性を感じられます。若者をターゲットにし、写真が映える場所がひとつでもできれば、観光客を増やすことが期待されます。その中で強みである「海」と「食」を組み合わせた施策が良いと思います。また、ホームページの充実化も必要であると思います。若者は皆携帯を持っており、調べる際にはインターネットを使用することが一般的になってきました。すると、ホームページの閲覧数も自然と増えるわけで、一目で目を惹くようなデザインにすることが大事だと思います。そういったことを周りに共有することで利益を得ることができるキャンペーンをすることでさらに伸びることが期待できます。</p> <p>私が挙げたことはざっくりとした案でしたが、実際の数値として、観光客や宿泊客は増えているので、正直、今のまま進めていけばいいと思います。さらに観光客の増加を考えるならば、InstagramやYouTubeなどの若者に伝えやすいツールを通して魅力を発信していくことが大切だと思います。」</p>	産業・労働
21G04701	<p>プロジェクト19 多文化共生</p> <p>日本においても多文化理解の推進が良い方向に進んでおり、年々外国人の住居者数が右肩上がりとなっています。しかしながら外国人とのコミュニケーションは十分とは言えず、日本語の理解が難しいという外国人が多いのが現状です。日本語は外国の人々からすればとても複雑であり、習得にはしっかりとした環境と情報、知識が必要であると考えられます。そこで、コロナ禍という現状も鑑み、オンラインでの日本語の講習教室を先ほどの条件を満たした状態で活発に行うことができれば、日本語の理解がスムーズになるのではないのでしょうか。オンラインが普及している今現在、直接足を運ぶことなく講義が受けられるため参加率が上がることをはかります。また、ZOOMだと顔も合わせながら日本語の勉強、コミュニケーションを行えるため対策として有力なのではないかと考えました。単純ですが、日本語の理解により日本の文化や習慣などの違いも知ることができ、何より多文化共生の課題の一つである多言語対応の促進が見込めるのではないのでしょうか。多文化共生の課題を挙げるとなかなか実現が難しいものばかりですが、今できそうなことを少しずつやってくしかありません。日本語は発音の違い、表記文字の多さ音読み、訓読みなど様々な難点があるため外国人にとっては「英語と比べると難しすぎる」という考えはあると思いますが、日本語の理解によって日本の住みやすさというのは格段に上がります。それによって更に日本への魅力や文化の美しさに気づいて発信していくことで日本に興味を持つ外国人の方も増えていくと思います。</p>	県民生活

意見整理番号	意見要旨	分野別
21G04801	<p>柱1 健康長寿 プロジェクト3 高齢者 「具体的な取組の一つである地域包括ケアシステムの推進について、高齢者が安心してらせる住まいの確保を図るため、サービス付き高齢者向け住宅などの普及や健康団地の取組みを進めるとともに、介護保険施設などの基盤整備を進めます、という記載があるが現在高齢者に対する課題として貧困に陥っている人たちが増加しているという現状があります。そのため、設備の充実やサービスの向上をしても金額がネックとなって入居できない人が増加してしまう恐れがあると読んでいて感じました。そのため、介護保険施設に入るための金銭的なケアも視野に入れたほうが良いと感じました。」</p>	健康・福祉
21G04802	<p>柱2 経済のエンジン プロジェクト6 産業振興 PJ6産業振興の県内企業の活性化について、中小企業・小規模企業が、経営状況が下降する前から兆しに気づき、早期に必要な対策を講じることにより企業経営をより健全な状態に近づけていく、「企業経営の未病改善」の取組みを推進します、という具体的な取組が記載されていますが、実際に「企業経営の未病CHECKシート」を作成したり、企業経営の未病相談ダイヤルといった対策をしているのはとても良いと感じました。しかし、コロナ禍では多くの中小企業が倒産してしまいましたがその部分についてどのような改善策を考えているのかという疑問を持ちました。</p>	産業・労働
21G04803	<p>柱4 ひとのチカラ プロジェクト13 子ども・青少年 「具体的な取組の「支援を必要とする子どもを守る体制づくり」から、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境整備や教育の機会均等の確保を図るため、子どもの貧困に関する理解を促進するとともに、生活保護世帯の子どもや生活困窮の懸念が高いひとり親家庭への支援などに取り組みます、と記載されていて核家族やシングルマザーが増加している現代では貧困は大きな課題なので貧困に対する理解の促進や支援をするというのはとても良い施策だと思いました。しかし、行政だけで貧困の周知や支援を行うというのはリソースを大きく割かなければならないと思うため、民間団体など協働していく事も視野に入れても良いと感じました。」</p>	教育・子育て